



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台年俸制職員

(チリ観測所特任准教授または特任助教)

1. 年俸制職員（特任准教授または特任助教）1名
2. (1) チリ観測所
(2) 東京都三鷹市

3, 4.

- ALMAの共同利用運用のためのユーザー支援業務（観測準備支援、観測手順書作成支援、データ解析および品質保証、パイプラインデータ解析、ヘルプデスク業務）の実施
- 国内外におけるALMAのサイエンスプロモーション活動（研究会、ユーザーズミーティング等）の実施
- 出張ベース（1カ月程度の出張を年1回）で、チリ現地における当番天文学者業務（Astronomer on Duty）もしくはシステム・科学評価活動の実施
- ASTE望遠鏡の観測支援
特任准教授には、以上に加えて上記のALMAの共同利用運用のためのユーザー支援業務少なくとも一つに責任を持っていただきます。

また、上記の業務を75%の-effortで行っていただき、残りの25%はALMAに関する研究、例えば

- ・ALMAを用いた卓越した研究
- ・ALMAにおける新しい研究分野の開拓にあてていただきます。

5. 2018年4月1日～2023年3月31日*

- ・年度ごとに業績評価を行い給与の見直しを行います。*2013年4月1日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、2013年4月1日以降の通算雇用歴が10年までの契約となる可能性があります。

6. 上記業務に必要な、以下の知識と経験を有すること。
 - 大学博士課程修了、またはそれと同等以上であること
 - 天文学の知識を有すること
 - 電波観測装置を用いた観測的研究の推進に意欲的に取り組めること
 - 外国人との共同作業ができる程度の英語力を有すること
 - 東アジアのARCおよびほかのARCスタッフと協力・協調して、科学評価活動およびユーザー支援業務に意欲的に取り組めること

7. (1) カバーレター

- (2) 履歴書（研究歴も含める：個人としての研究業績のほか、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください）
- (3) 応募する職種：特任准教授または特任助教
- (4) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の場合は役割分担を記すこと）
- (5) 主要論文の別刷3編
- (6) 職務に対する抱負と計画（必要があれば研究計画も記入してください）
- (7) 本人について意見を述べられる方の連絡先（複数）
- (8) 速やかに連絡できる本人連絡先

以上すべての応募書類（上記の(1)-(8)は英文で作成し、PDFファイルに変換してメールに添付すること。

8. 2017年12月1日（金）日本時間17時必着

9. (1) apply-alma-arc20171201@nao.ac.jp
Prof. Seiichi Sakamoto, Director of NAOJ Chile Observatory
件名欄に「Application for EA-ARC Support

Astronomer」と記入してください。

(2) (応募に関する問合せ先)

国立天文台事務部総務課人事係

TEL: 0422-34-3750

E-mail: apply-qa@nao.ac.jp

(職務内容に関する問合せ先)

国立天文台チリ観測所長 阪本成一

E-mail: sakamoto.seiichi@nao.ac.jp

10. 応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用いたしません。

・選考後、採用者以外の個人情報責任をもって破棄します。

・面接に要する費用(交通費等)は応募者の自己負担となります。

11. 勤務形態: 裁量労働制 始業8:30~終業17:15 (休憩1時間)を基本とし、労働者の決定に委ねる

待遇:

・給与は年俸制。おおむね国立大学准教授相当(特任准教授の場合)または国立大学助教相当(特任助教の場合)

・職務内容,実績,経験等により決定した年俸額の12分の1の額を毎月支給

・文部科学省共済組合(健康保険),厚生年金保険,雇用保険,労災保険に加入

・夏季休暇,年末年始休日あり

選考方法: 書類選考および面接による選考

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し,男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており,業績の評価において同等と認められた場合には,女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

2018年度国立天文台プロジェクト研究員 (年俸制職員特任研究員)

英語版は<http://www.nao.ac.jp/en/job-vacancy.html>をご参照ください(一部のプロジェクトのみ)。

(共通事項)

1. 年俸制職員特任研究員。募集人員は個別事項に記載。

2. 今回募集を行うプロジェクト等およびその勤務地は個別事項をご覧ください。

複数のプロジェクトへの併願は可能ですが,希望する順を研究計画書に書いてください。最終的にプロジェクト等から選考委員会へ推薦される候

補者は,プロジェクト間で重複しないように調整されます。

3. 募集分野は個別事項に記載

4. 勤務時間の半分までは,所属するプロジェクト・センター等の長と相談のうえで,所属プロジェクト等の業務を行う義務があります。職務内容の詳細は個別事項に記載。

5. (1) 2018年4月1日以降(プロジェクト等によっては個別の指定(下記記載)があるので,それに従うこと)。

(2) 原則として着任日より3年間ですが,年度ごとに業績評価を受けていただくこととなります。但し,2004年4月以降,国立天文台にプロジェクト研究員または短時間契約職員のうち研究員として勤務した期間がある場合,通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。

更新は,個別事項に述べられている場合を除き,審査のうえで,1回に限り可能です。ただし更新後の雇用期間は2年以下で,通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。

6. 博士の学位を取得した者または2018年3月31日までに取得見込みの者。

なお,2018年9月30日までに取得見込みの者は,その旨を記載のこと。

7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト(査読論文と,その他を区別し,共著論文の場合は著者名をすべて明記すること), (4) 主要論文3編以内のPDFファイル, (5) 研究計画書, (6) 応募者に対する評価書1通。

* プロジェクト等によっては個別の指定(下記記載)があるので,それに従うこと。

また,評価書は評価者が応募締め切りまでに提出先へ送ること。

8. 2017年11月16日(木)正午(日本標準時)必着(個別事項に別の指定がある場合を除く)

9. (1) 提出先メールアドレス, (2) 問合せ先は個別事項に記載。

10. 応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に確認のメールを送るので,それが届かない場合は指定の問合せ先に連絡すること。

11. ・裁量労働制の常勤職員として月額給与35万円のほか,通勤手当(上限55,000円/月)が支給されます。また,年あたり50万円の研究費が配分されます。

・米国ハワイ州外よりハワイ観測所(ハワイ州ヒ

ロ市)に着任する場合、またはチリ共和国外よりチリ観測所(サンチャゴ市)に着任する場合は、手当が支給されます。

- ・ 文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。
- ・ 着任に必要なと認められる転居を行う場合、赴任旅費が支給されます。
- ・ 科学研究費助成事業への応募資格があります。

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/>をご覧ください。

(個別事項)

○野辺山宇宙電波観測所

1. 2名
2. (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
- 3, 4. 野辺山宇宙電波観測所は45m電波望遠鏡の共同利用運用を行っています。45m鏡電波望遠鏡を中心とし、研究を推進していただくために、研究員を募集します。研究員には勤務時間の50%を用いて、野辺山45m鏡や国立天文台の運用するALMAやASTE望遠鏡を主として用いて自身の研究を推進していただきます。勤務時間の残り50%では、45m鏡の運用やユーザーサポートを行っていただくとともに、観測所が進めている観測装置性能向上・評価、観測・解析の自動化に関連する運用や開発を担当していただきます。
9. (1) 応募書類、評価書はk.tatematsu@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。メールサブジェクトに「野辺山プロジェクト研究員応募」と明記してください。
- (2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2
国立天文台野辺山宇宙電波観測所所長
立松健一
e-mail: k.tatematsu@nao.ac.jp

○チリ観測所

1. 2名(うち1名は2018年6月1日以降着任)
2. (2) 勤務地: 東京都三鷹市(ただしチリ, 欧州, 北米, 台湾, 韓国等に出張の可能性があります)
- 3, 4. ALMAでは現在6回目の共同利用(サイクル5)の科学運用が行われています。ALMAやチリ観測所が運用しているASTE望遠鏡を用いた研究を

推進していただくために、研究員を募集します。研究員には、ALMAやASTEなどの観測データ(アーカイブを含む)を用いて自身の研究を推進していただきます。チリ観測所内外の研究者との共同研究を含む積極的な研究提案を歓迎します。また、プロジェクト業務としてALMAの運用やユーザーサポートに関する以下の業務に寄与していただきます。

- ・ ALMA共同利用支援(干渉計データリダクション, 観測指示書作成支援やヘルプデスクにおけるユーザーサポート, 等), ALMAに関係する開発(装置, ソフトウェア)
7. 応募書類は英文で書いてください。研究計画書には、自身の研究の計画と業務にあたっての計画と抱負を書いてください。評価者2名に締切日までに評価書を送付するよう依頼してください。
 9. (1) 応募書類, 評価書ともalma-postdoc-application@alma.mtk.nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。メールサブジェクトに「Application (or Recommendation) for Project Fellow」と明記してください。
 - (2) e-mail: postdoc.inquiry@alma.mtk.nao.ac.jp

○水沢VLBI観測所

1. 1名
2. (2) 岩手県奥州市または東京都三鷹市(採用後の研究・業務内容による)
- 3, 4. 水沢VLBI観測所では、VERAの運用とその観測に基づく研究を中心に、日本国内および東アジア地域の大学・研究機関等とも連携しつつ、銀河系構造、星形成領域、晩期型星、活動銀河中心核などの研究をVLBI観測に基づいて進めています。今回募集する研究員には、VLBIを用いた観測天文学研究を推進していただくとともに、関連する装置の運用や性能評価試験、国内外のVLBIの連携強化や共同利用のサポートなどの業務を分担していただきます。また水沢VLBI観測所および電波天文学の将来計画策定にも積極的に加わる意欲のある人材を求めます。
9. (1) 応募書類, 評価書ともapply-mizusawa@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
- (2) 〒023-0861 岩手県奥州市水沢区星ガ丘町2-12
国立天文台水沢VLBI観測所所長 本間希樹
Tel: 0197-22-7128
e-mail: mareki.honma@nao.ac.jp

○ハワイ観測所

1. 若干名
2. (2) 東京都三鷹市, ただし, ハワイ観測所(米国ハワイ州ヒロ市)への出張による業務も年に数回ありうる.
- 3, 4. ハワイ観測所では, すばる望遠鏡による共同利用を実施し, 多様な天文学研究を進めるとともに, 新装置の開発や将来計画の検討を進めています. 本プロジェクトでは, すばる望遠鏡を用いた観測的研究を積極的に進める研究員を募集します. 研究員には, 自身の研究と並んですばるによる共同利用に関する観測所の業務を担当していただきます. その主な内容は, 三鷹リモート観測の支援, すばるデータアーカイブの運用支援, 広報活動, 各種講習会やユーザーズミーティングの世話人等です. 加えて, ハワイ観測所スタッフとの共同研究も積極的に促進していただくことを期待します. 研究計画書には, 自身の研究計画とともにこれらの業務に対する抱負や貢献の可能性も記述してください.
9. (1) 応募書類, 評価書とも fellow2017apply@naoj.orgへメール添付で送付のこと.
メールサブジェクトに「プロジェクト研究員応募」と書いてください.
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台ハワイ観測所 柏川伸成
Tel: 0422-34-3532

○TMT推進室

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市, ただし, アメリカ合衆国カリフォルニアへの出張による業務も年に数回ありうる.
- 3, 4. TMT推進室では, TMTの第1期観測装置IRISの撮像系の開発を担当しています. IRISは補償光学装置と組み合わせることで近赤外線領域において回折限界の撮像観測を可能にします. TMTの大口径と補償光学による高感度の観測を実現するため, IRISは冷却下において非常に小さい波面誤差の光学性能が要求されています. 最大の科学的成果を生み出すために, 補償光学装置を含めた観測装置の設計・製作, その性能を踏まえた観測計画の立案, 既存の望遠鏡等を用いた観測準備が重要であり, これらを担うことのできる研究者を必要としています. とくにIRISは2017年10月から2.5年間の詳細設計フェーズ, および2.5年間の製造フェーズを迎えます. 本研究員に

期待する業務としては, 撮像系の性能や評価に関する検討として,

- (1) アストロメトリーの精度評価,
 - (2) IRIS撮像系の光学性能評価や評価方法の具体的な検討,
 - (3) IRIS撮像系の観測データ解析手法やデータ解析アルゴリズムの検討,
 - (4) IRIS撮像系の検出器性能評価方法の具体的な検討,
 - (5) IRISによるサイエンスケースや具体的な観測シーケンスの検討,
- などが挙げられます. いずれも観測装置の設計の進展に合わせて常に更新を行うとともに, コミュニティ・大学関係者とも連携を取りながら多様な観測研究のアイデアに対応していく必要があります. 柔軟な発想のもとに遂行できる若手研究者を期待しています. なお, 研究計画書には, 自身の研究計画とともにこれらの業務に対する抱負や貢献の可能性についての記述をしてください.
9. (1) 応募書類, 評価書とも fellow2017apply@naoj.ac.jpへメール添付で送付のこと.
メールサブジェクトに「プロジェクト研究員応募」と書いてください.
 - (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 TMT推進室 白田知史
Tel: 0422-34-3522
e-mail: usuda@naoj.org

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授

1. 第109巻3号
2. 関本裕太郎(国立天文台・准教授)
3. 2017年10月1日

研究会・集案案内

国際会議 CAP2018 in 福岡
参加者募集

CAP (Communicating Astronomy with the Public) は、天文学と社会に関する話題や取り組みを議論し情報交換する場として、国際天文学連合 (IAU) 分科会 C2: Communicating Astronomy with Public が主催する国際会議です。国立天文台と福岡市がホストを務め、次の日程で開催されます。日本天文学会が共催する国際会議ですので、多くの会員が参加されますようご案内いたします。

会議名: CAP2018 in Fukuoka (世界天文コミュニケーション会議2018 in 福岡)

期間: 2018年3月24日から3月29日まで (6日間)

会場: 福岡市科学館 (福岡市中央区六本松4-2-1)

発表申込み: 2017年10月15日まで

早期参加登録: 2017年12月15日まで

(参加費: 一般3万円, 学生1万5千円)

通常参加登録: 2018年2月28日まで

(参加費: 一般3万5千円, 学生2万円)

* 1日参加券 (一般5千円, 学生4千円), 2日参加券 (一般8千円, 学生7千円) もあります。詳しくはウェブでご確認ください。

今回のテーマは、「今日の世界で天文学を伝える目的と方法」です。天文学と社会の接点が多様化している現代社会において、どんな課題や可能性があるのか、天文学はよりよい社会の構築にどんな役割を果たせるのかなど本会議では、世界中で実際に天文コミュニケーション活動に関わる人たちの知識とノウハウの共有を目指します。詳細は、<http://prc.nao.ac.jp/fukyu/cap2018/> (日本語サイト) をご覧ください。

(CAP2018大会事務局長 縣秀彦)

第13回最新の天文学の普及をめざすワークショップ

テーマ: シミュレーション天文学

<参加者募集>

「最新の天文学の普及をめざす会」は、現在行われている天文学研究最前線の様子を広く社会に伝えるため、天文学普及のためのワークショップを開催いたします。

日時: 2017年12月3日(日) 13:00-

5日(火) 14:00*

※最終日は、理化学研究所スーパーコンピュータ『京』の見学を予定していますが、申込み状況により見学時間が異なる可能性があります。解散時間は後日連絡いたします。

場所: 神戸大学統合研究拠点コンベンションホール
対象: プラネタリウム・公開天文台・科学館職員・学校等の職員で天文学の普及に関わっている方及び科学コミュニケーターや科学教育普及に興味を持つ学生。

参加費: 5,000円

宿泊: 各自で確保精算をお願いします。

応募方法: 希望者はWebサイトの申し込みフォームよりご応募ください。

https://peraichi.com/landing_pages/view/latestastronomy

応募締切: 2017年10月31日(火) (申込人数が少ない場合には締切を延長します)

主催: 神戸大学惑星科学研究センター

共催: ポスト「京」重点課題9

「宇宙の基本法則と進化の解明」

ポスト「京」萌芽的課題3

「太陽系外惑星(第二の地球)の誕生と太陽系内惑星環境変動の解明」

計算基礎科学連携拠点

天文教育普及研究会

日本プラネタリウム協議会(予定)

日本公開天文台協会

後援: 日本天文学会

協力: 理化学研究所計算科学研究機構

自然科学研究機構国立天文台

運営事務局: 最新の天文学の普及をめざす会(世話人会)

コーディネーター: 永井智哉(筑波大学計算科学研究センター)

・ワークショップの目標

(1) シミュレーション天文学の成果をプラネタリウム、公開天文台、科学館あるいは学校などの教育現場で活用してもらうため

(2) シミュレーション天文学を理解するためのフレームワーク作りのため

(3) 研究者並びに関係者とのコラボレーションのため

・主な内容(予定)

※講義: 12月3日(日), 4日(月) [会場: 神戸大学統合研究拠点コンベンションホール]

○オーバービュー「シミュレーション天文学(仮)」
○大規模計算で探る太陽活動周期○シミュレーションで明らかにされつつある惑星形成過程○スーパーコンピュータで探る連星中性子星合体と重力波
○スーパーコンピュータシミュレーションによるブラックホール天文学○ビックデータ宇宙論○グループワーク〜最新のシミュレーション天文学をどう伝えるか(仮)

※見学: 12月5日(火) 理化学研究所スーパーコンピュータ『京』[会場: 理研AICS]

問合せ先: Webサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

https://peraichi.com/landing_pages/view/latestastronomy

名古屋大学大学院理学研究科・

名古屋市科学館共催

第16回 坂田・早川記念レクチャー

「太陽系を満たすプラズマコロナから星間空間の入口まで」

西田篤弘氏(宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所名誉教授, 日本学士院会員)

2017年12月23日(土・祝)

開場13:30 開始14:00 終了予定16:30

名古屋市科学館サイエンスホール

■対象: 高校生以上

■定員: 300名(申込み制, 多数の場合は抽選)

参加には科学館の観覧料が必要です。(高校生・大学生200円, 大人400円)

■講演会ホームページ: <http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/SakataHayakawa/index.html>

〜集まれ, 科学者を夢見る若者たち!〜

名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻は, 素粒子物理学と宇宙物理学の両分野における世界の研究の発展へ寄与するとともに, ノーベル賞受賞者をはじめ, 多くの人材育成にかかわって参りました。坂田・早川記念レクチャーは, 坂田昌一・早川幸男両教授の業績をたたえ, 21世紀を担う研究者の発掘および育成を目的として設けられました。

第16回目となる今回は, 太陽系や地球磁気圏における宇宙プラズマに関する研究を長年にわたりリードしてこられた西田篤弘氏をお招きします。プラズマは電子や陽子といった電荷をもった粒子を含む電離ガスです。プラズマは太陽コロナから吹き出し, 惑星軌道を超えて星間空間の入口までに達しており, まさに太陽系を満たしています。西田氏は,

1992年に打ち上げられた磁気圏尾部観測衛星「ジオテイル」の計画を主導されるなど, 磁気圏プラズマの理解に革新をもたらす多くの研究成果を上げられました。講演では, 人工衛星プロジェクトの魅力にも触れながら, 宇宙プラズマについてわかりやすくお話しいたします。

申込方法: 講演会ウェブサイトの専用フォームからお申込みください。

(申込みで寄せられた個人情報, 本セミナーの運営に必要な範囲でのみ使用します)

申込締切: 12月3日(日)

問合せ先: 内容についてのお問い合わせ

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院理学研究科P研

担当: 前山

電話: 052-789-3930

e-mail: sakata-hayakawa2017@p.phys.nagoya-u.ac.jp

申込方法, 会場に関するお問合せ

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-1

名古屋市科学館

担当: 天文係 中島

電話: 052-201-4486(代)

注: 高校などでまとまって参加希望される場合は, お問い合わせください。

その他

IAU(国際天文学連合)の新規会員希望登録について

2018年8月にウィーンで開催される第XXX回IAU総会で, 新しいIAU会員が承認されます。ウィーン総会では, これまでの会員(Individual Member)に加え, 博士号取得後間もない方を対象とした若手会員(Junior Member)という新たな会員種別ができる予定です。総会で規則改正が承認されればすぐに若手会員の承認が行われます。

新会員になることを希望される方は, 以下のとおりウェブにて申請をお願いします。現会員の方々は周囲にこのことを周知し, 推薦すべき研究者をご存じの方はご本人に連絡し申請を奨励してください。

Junior Memberへの推薦を希望する人は, 本号のp.736にある「IAUの新しい制度」の記事をよく読んで申請してください。

1. 申請期限：2017年12月15日正午
2. 申請先：<https://prc.iao.ac.jp/prc/iao/>
3. 申請の基準：
 - 会員：
 - 天文学・宇宙物理学または関連分野において博士号を取得し、かつその後2-3年以上研究者としての活動歴がある者
 - 若手会員：
 - 天文学・宇宙物理学または関連分野において博士号を取得し今後この分野で研究者としての活動を目指す者で、学位論文の指導教員を含む2名の推薦がある者
4. 申請方法：以下の5に掲げる項目を上記URLのフォームに従って本人が記入する。

5. 記入項目：申請者＝会員候補者の氏名、生年月日と出生国、国籍、住所、電子メールアドレス、博士号取得年、取得大学、現在の勤務場所と職名（ポジション）、主要研究分野、主要論文3編（タイトル、雑誌名、巻、ページ、年）、所属を希望するIAUのDivision（最低一つ、複数選択可能）。Junior Memberに申請する人は2名（指導教員とIAUメンバー1名）の推薦書。

日本学術会議IAU分科会は上記「申請の基準」に照らして審査し、推薦候補者リストを3月15日までにIAUに提出します。基準に満たないと判断された候補者は推薦されません。

★IAUについては、IAUのウェブページ (<https://www.iau.org/>) に加えて、本号のp. 736にある記事、および天文月報の3回連続の特集記事「IAUとの関わりを考える」(2010年11月号, 12月号, 2011年1月号)を参考にしてください。特集記事は日本天文学会ホームページ (<http://www.asj.or.jp/>) の「IAU関連のお知らせ」にも掲載しています。

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまず必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイ

ルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は

youtsumi@hiroshima-u.ac.jpまで、

またその他のご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆者のために日本天文学会HPに「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご用意いたしました。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtex/あるいは文字コードに応じてu_Tex2/, MSWordで執筆される方はword/をご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

訃 報

会員の村主崇行氏は2017年7月11日にご逝去されました。満33歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

元会員の柴崎徳明氏は2017年7月26日にご逝去されました。満70歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

※パスワードが変わりました!※

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol110** (6文字)の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕(委員長), 上野悟, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 萩原喜昭, 松田有一, 諸隈智貴, 山田真也

平成29年10月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2017年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)